

# マレーシアにおける日本食市場の概況

2024年2月29日

ジェトロ クアラルンプール事務所

※本資料中、意見に渡る部分は個人の見解を含む場合があり、日本貿易振興機構（JETRO）の公式見解を必ずしも反映するものではありません。

# 1. 基本情報

プトラ・モスク (イスラム教)



バトゥ洞窟 (ヒンドゥー教)



セントマリー聖堂 (キリスト教)



天后宮 (仏教)



# 1 基本情報：概況

- 日本の約90%の面積に約30%の人口
- マレー系6割、華人系2割、インド系1割弱
- イスラム教6割、仏教2割、キリスト教1割、ヒンドゥー教1割弱
- 多民族、多宗教の特徴を有するが、ビジネスは英語も可能。

■ 面積： 約33万km<sup>2</sup>（日本の約87%）

■ 人口： 3,338万人（日本の約27%）※2023年推定値、外国人を含む

【構成】	ブミプトラ <sup>注</sup>	：	63.9%	（	2,133万人	：	前年比 + 0.9%
	うち、マレー系	：	52.8%	（	1,761万人	：	前年比 + 1.0%
	うち、その他先住民	：	11.1%	（	371万人	：	前年比 + 0.7%
	華人系	：	20.6%	（	686万人	：	前年比 △ 0.3%
	インド系	：	6.0%	（	200万人	：	前年比 △ 0.1%
	その他	：	0.7%	（	23万人	：	前年比 + 1.8%
	外国人	：	8.9%	（	296万人	：	前年比 + 23.0%

（注）ブミプトラとはマレー語で「土地の子」を意味し、マレー系住民と先住民を指す

■ 宗教： 国教はイスラム教（ただし、信教は自由 \*連邦憲法第11条）

【構成割合】※2020年

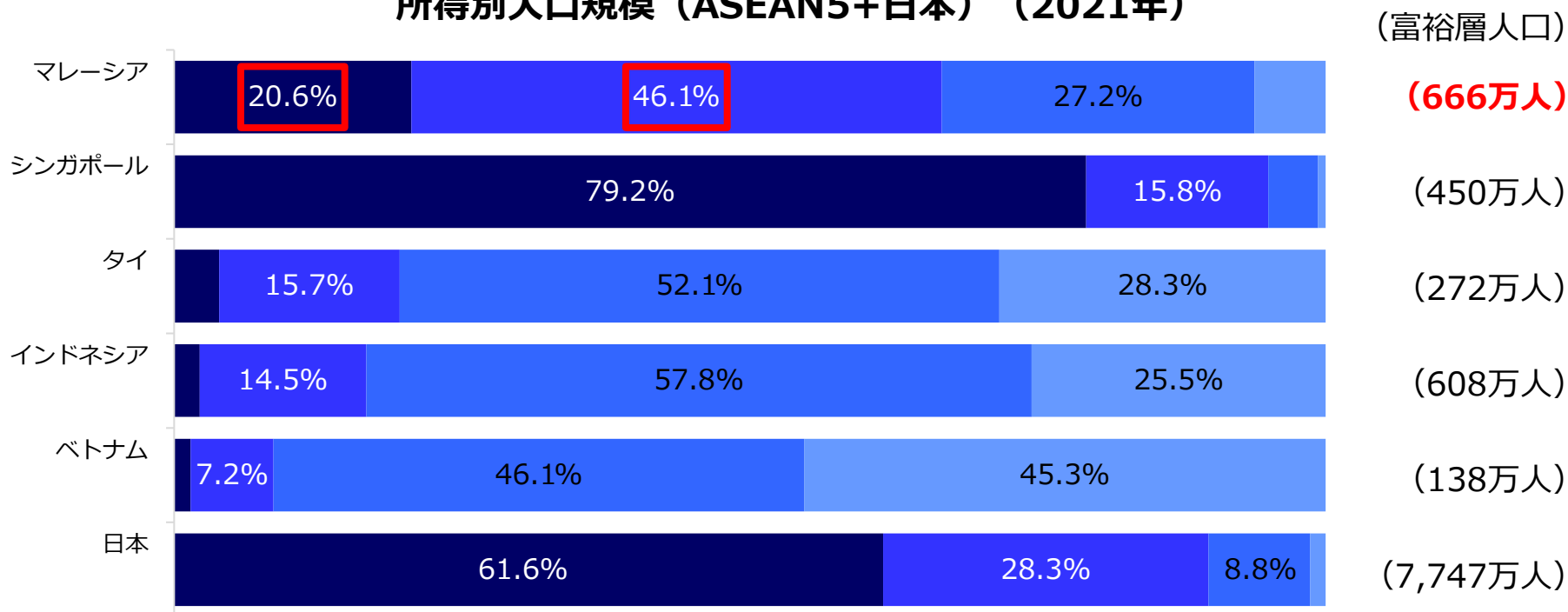
イスラム教 63.5%、仏教 18.7%、キリスト教 9.1%、ヒンドゥー教 6.1%など

■ 言語： マレー語（公用語）、**英語**、中国語、タミル語

# 1 基本情報：所得別人口規模（ASEAN5+日本）

- 世帯年間可処分所得35,000ドル以上の**富裕層が人口の約2割**（約666万人）  
⇒シンガポール総人口569万人を超える富裕層の存在
- 同15,000ドル以上～35,000ドル未満の**上位中間層が約5割**（約1,492万人）

## 所得別人口規模（ASEAN5+日本）（2021年）



- 富裕層（世帯年間可処分所得35,000ドル以上）
- 上位中間層（同15,000ドル以上～35,000ドル未満）
- 下位中間層（同5,000ドル以上～15,000ドル未満）
- 低所得層（同5,000ドル未満）

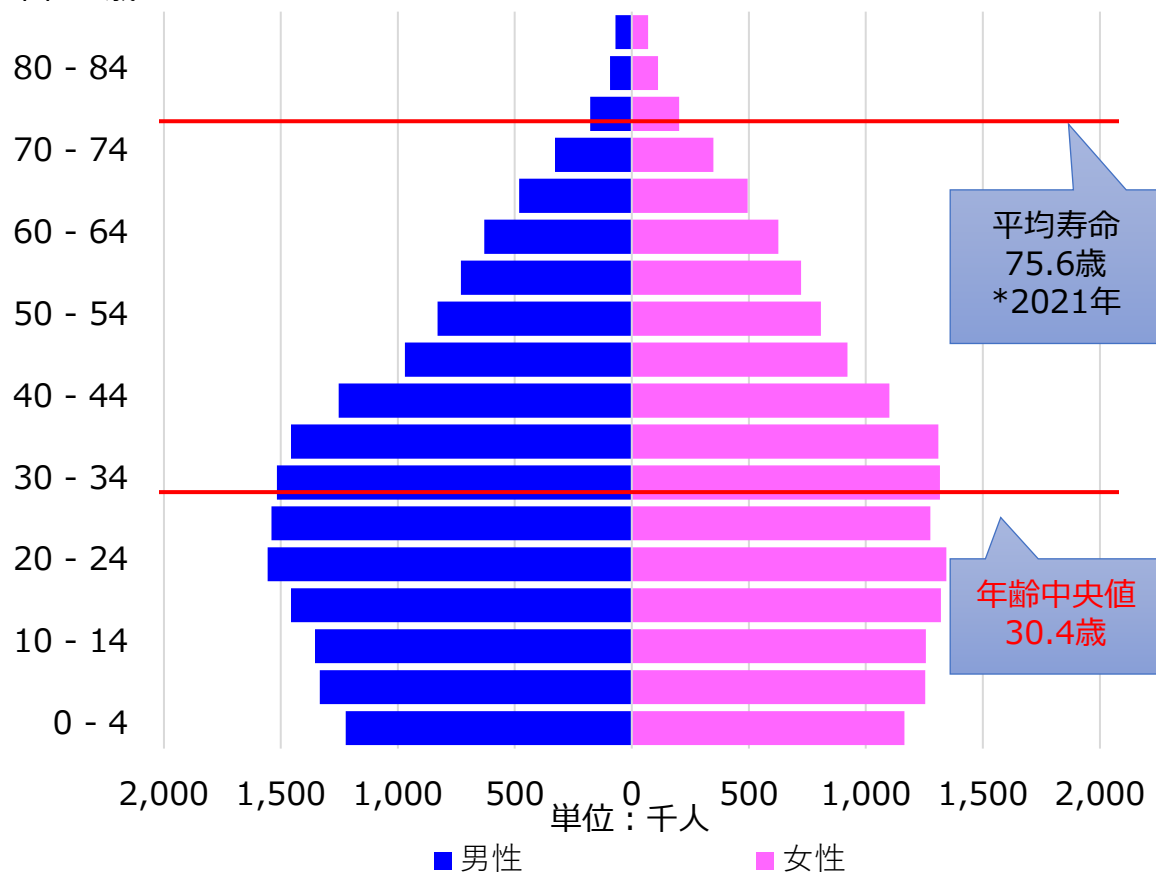
（備考1）所得区分は、経済産業省「通商白書」に準じる  
（備考2）富裕層人口は、富裕層比率×人口で算出

# 1 基本情報：人口構成

- **人口ボーナス期**：消費を支える世代の増加、**年齢中央値30.4歳**と若い市場
- **生産年齢人口（15歳～64歳）が総人口の2/3以上**を占める
- **高齢化の進行**：2030年に60歳以上の割合が15%を超え、高齢社会となる見込み

## マレーシアの人口ピラミッド（2022年推計値）

単位：歳



## 人口構成比較（マレーシア-日本）

区分		マレーシア	日本
総人口 (百万人)		32.7	124.9
構成比	0 - 14 歳	23.2%	11.6%
	15 - 64 歳	69.5%	59.4%
	65 歳以上	7.3%	29.0%
年齢中央値		30.4歳	48.6歳
平均寿命		75.6歳	84.5歳

（備考）日本の各データの出所  
 総人口・構成比：令和4年度人口推計  
 年齢中央値：令和2年国勢調査  
 平均寿命：令和3年簡易生命表より、男性・女性の平均寿命の単純平均値

# 1 基本情報：平均世帯月収

- **所得格差は大きい**：格差是正や最低賃金の引き上げが政府の課題
- **州別では首都圏の平均世帯月収が突出**
- **日本産食品のマーケットとしては、首都圏、ジョホール、ペナンが中心**

## 平均世帯月収（所得区分、民族、都市・農村別）

項目	区分	2019年	2022年	年平均増加率	格差
所得区分別	富裕層（T20）	561,842円	596,635円	2.0%	富裕層 ／低所得層 <b>5.8倍</b>
	中間層（M40）	223,085円	242,000円	<b>2.7%</b>	
	低所得層（B40）	95,695円	103,254円	2.5%	
民族別	華人系	300,412円	323,516円	2.5%	華人系 ／ブミプトラ <b>1.4倍</b>
	インド系	249,438円	271,722円	<b>2.9%</b>	
	ブミプトラ ※マレー系を含む	215,343円	230,706円	2.3%	
都市・農村別	マレーシア	239,874円	257,422円	2.4%	都市部 ／農村部 <b>1.8倍</b>
	都市	262,159円	286,234円	<b>2.9%</b>	
	農村	151,921円	156,263円	0.9%	

（備考）マレーシアの1世帯あたりの平均人数は3.8名（2022年）

## 最低賃金の推移

	2013年7月～		2016年7月～		2019年1月～		2020年1月～		2022年5月～	
マレー半島部	RM	900	RM	1,000	RM	1,100	RM	1,200	RM	1,500
東マレーシア	RM	800	RM	920			(注1)	(注2)		

（注1）2020年2月より、東マレーシアを含む56主要都市を対象に引き上げ

（注2）従業員5人未満の雇用主に対しては2023年1月から適用

（備考）東マレーシアは、サバ、サラワク、ラブアン

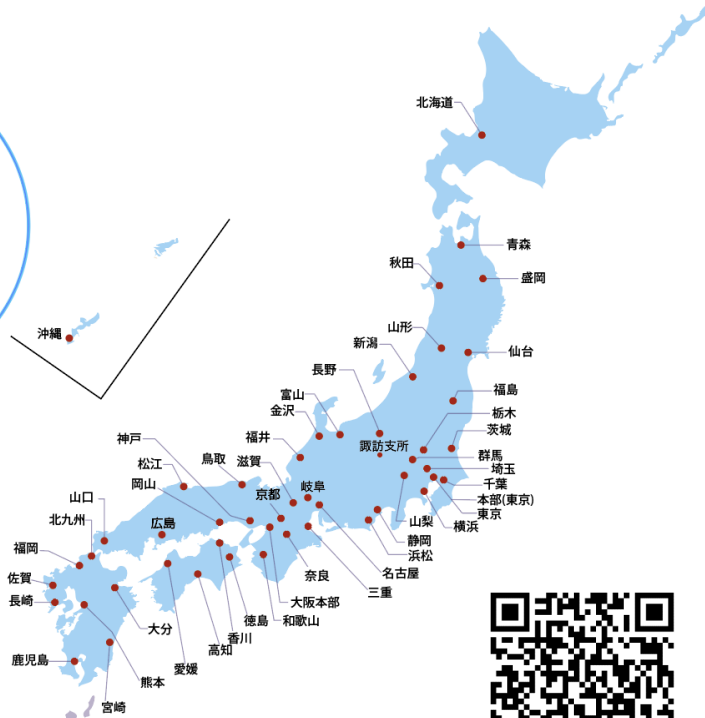
## 平均世帯月収（州別）

州 （括弧内は連邦直轄領）	平均世帯月収 （2022年）
マレーシア全体	257,422円
① ペルリス	171,959円
② ケダ	168,498円
③ ペナン	250,986円
④ ペラ	175,450円
⑤ クランタン	148,309円
⑥ トレンガヌ	220,049円
⑦ パハン	175,390円
⑧ セランゴール （クアラルンプール）	371,394円 404,547円
（プトラジャ）	409,040円
⑨ ネグリ・スンビラン	206,084円
⑩ マラッカ	244,611円
⑪ ジョホール	258,576円
⑫ サバ （ラブアン）	187,352円 250,470円
⑬ サラワク	196,035円

**現在の日本産食品の主な消費者層は、都市部に住む、富裕層・上位中間層**

## 6. ジェトロのサービス（食品）

国内のお客様は  
最寄りの国内窓口にて  
ご相談ください。



JETRO Kuala Lumpur

### ▼情報収集▼

#### ① 貿易投資相談

最寄りのジェトロ国内事務所にてマレーシアを含む海外ビジネスの相談が可能。

#### ② 海外ブリーフィングサービス

マレーシアへのご出張の際に、ジェトロクアラルンプール事務所にて最新情報のご提供が可能。（ご訪問希望日の6週間前から4営業日前までの事前申込制）  
お申込みは最寄りのジェトロ国内事務所へ。

## 6. ジェトロのサービス（食品）

### ▼販路開拓▼

#### ③ サンプルショールーム

事前にサンプルを送付いただき、ジェトロがバイヤーとのサンプル商談をアレンジ。マレーシア最大のハラール見本市「MIHAS」へのサンプル出展や地方の有力バイヤーへの商談サポートを予定。

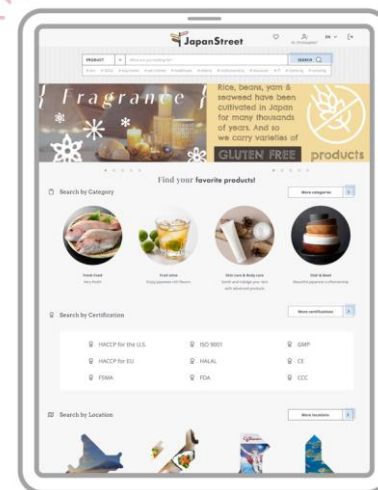


#### ④ バイヤー招聘商談会

有力バイヤーを日本に派遣し、国内にて商談会を開催。

#### ⑤ JAPAN MALL/JAPAN STREET

無料の商品登録のみで、ジェトロの招待バイヤー専用のオンラインカタログを用いた常時マッチングサービスを提供。2023年時点で6000社を超える日本企業、3000社を超える海外バイヤーが登録済み！



# ご清聴ありがとうございました Terima kasih !

## <免責事項>

- 本資料は、日本からマレーシアへの食品輸出、販売等を行う実需者への情報提供として作成したものです。マレーシア政府の作成した資料等を基に作成していますが、執筆後に規則が改定・変更され本資料の内容と異なっていることもあり得ます。
- 本資料の正確性の確認と採否はお客様の責任と判断で行ってください。ジェトロは、本資料に起因して発生した損害・不利益等について、一切責任を負いません。
- 実際の輸出・販売を行う際においては、マレーシア当局や専門家に照会される等、最新情報の確認をお勧めします。
- 本資料を無断で引用・転載することは禁じます。

日本貿易振興機構（ジェトロ）  
クアラルンプール事務所



+60-3-2171-6100



MAK@jetro.go.jp



9th Floor, Chulan Tower,  
No. 3, Jalan Conlay, 50450 Kuala Lumpur



メールマガジン

「ジェトロ・クアラルンプールからのお知らせ」  
QRコードからご登録をお願いします👉

